

町会報

えひめ

2013

4

Vol.49

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



鬼北町「でちこんか」

Contents

町村会第1回全員連絡会	2
春季副町長会	2
随想 阪本壽明松野町長	3
町からのお知らせ	4
町の伝統行事	5~6
町議会事務局長会議	6
お知らせ	7
一筆	8
4月の行事	8
編集後記	8

旧広見町合併40周年を記念して平成6年から始まり、合併後も鬼北町の一大イベントとして開催しています。「でちこんか」とは、鬼北町の方言で「出てきませんか」という意味。

毎年10月に開催され、前夜祭では特設ステージにおいて、鬼北町の太鼓集団「魁」をはじめとする県内外の太鼓集団が熱い邦楽ライブを展開します。また、当日には、歌やダンスなどの多彩なパフォーマンスが披露される他、町内外の約90のお店が軒を連ねる「びっくり市」や川魚のつかみどりなどを実施。鬼北町の特産「きじ」を使ったジャンボきじ鍋の無料提供は、毎年長蛇の列ができるほどの人気ぶりです。

伊方町で開催

第1回全員連絡会

町内視察も実施

愛媛県町村会は、4月25日伊方町役場で「平成25年度第1回全員連絡会」を開催した。

会議には、県下8町長と稲田内子町副町長が出席し、次項により進められた。

1 開 会

2 あいさつ 白石会長

3 協 議

(1) 合併特例終了後の交付税の算定方法について

今村県市町振興課主幹から合併特例終了後の交付税の算定方法について説明があり、一

同了承した。

(2) 愛媛県民球団（愛媛マングリッピーズ）「顧問就任」のお願いについて

事務局から、マングリッピーズから、県民球団として地域の活性化やイベントに貢献したいとして、県内20市町長が「顧問」に就任することについて依頼があった旨の説明があり、一同了承した。

(3) 平成25年度四国四県町村長・議長大会について

事務局から、高知県で開催される同大会の開催方法や内容について説明があり、一同了承した。

(4) 平成25年度町等公平事務委託費の負担について

事務局から、本年度の負担金総額は280千円であり、負担方法は24年度と同様。

後日、県人事委員会から依頼文が各町へ直接、送付されることになるので、適宜、対応願いたいとする説明があり、一同了承した。

(5) 町イチ！村イチ！2014の開催及び助成金について

事務局から、明年1月11日～12日に開催される町イチ！村イチ！の実施要領等について説明

があり、一同、了承した。

(6) 本会臨時総会について

事務局から、任期満了に伴う本会役員選挙のための臨時総会を6月3日に開催する旨の説明があり、一同、了承した。

(7) 次回の本会全員連絡会の開催について

次回の開催については、正副会長に一任することとした。

なお、協議終了後、地域密着型介護保険施設「三崎つわぶき荘」を視察した。

春季副町長会を開催

平成25年度春季副町長会が、4月19日午後3時30分から「県自治会館」で開催された。出席者は、県下8町の副町長と松野町総務課長。

会議はまず、栗田代表幹事（松前町副町長）のあいさつに始まり、全員が自己紹介。

次いで、協議に入り、次のとおり協議が進められた。

(1) 各町からの提出問題について

① 時間外勤務手当の予算管理について（上島町）

② 地方公務員の給与削減について（内子町）

③ 地方公務員の再任用制度の実施について（内子町）

④ 地方交付税と給与削減の取扱について（鬼北町）

⑤ 55歳昇給停止について（鬼北町）

前記5題について、各町間の現

状と対策について意見交換が行われた。

(2) 協 議

① 愛媛県町村会

・本会組織について

・平成25年度の事業計画等について

・町会報えひめについて

・平成25年度町（市）職員研修会について

・各町における伝統行事について

② 愛媛県市町総合事務組合

・各事業の現状と課題について

③ （公財）愛媛県市町振興協会

・各事業の現状と課題について

事務局から、それぞれ説明があり、一同了承した。

(3) 次期開催地について

次回は愛南町で開催することを確認した。



随 想

「滑床溪谷の新しい魅力」

松野町長 阪本 壽明



日本最後の清流と呼ばれ、訪れる観光客を魅了し続ける四万十川。山深い四国の西南地域を悠々と蛇行して流れながら、大地を潤し、生命を育み、文化を運び、流域にさまざまな恩恵を与えてくれています。

この滔々たる大河の源流域のひとつに、足摺宇和海国立公園に指定されている「滑床溪谷」があります。松野町と宇和島市に跨る延長12キロに及ぶこの溪谷は、滝や淵、巨岩や

急瀬が次々と現れ、四季折々に景観や色彩を変えながら、私たちに感動と癒しを与えてくれます。また、シンボルである雪輪の滝は、岩肌を滑り落ちる水紋が淡雪のような輪を描き、その幻想的な美しさから日本の滝百選にも認定されています。松野町のキャッチフレーズ「森の国」は、この滑床溪谷の豊かな自然を背景に生まれたものです。

この滑床溪谷に、最近になって新しいアウトドアスポーツが続々と誕生しています。そのひとつが「キャニオニング」。滝を滑ったり、淵に飛び込んだり、岩をよじ登ったり、まさに五感すべてで大自然を体験できるスリル満点のプ



ログラムです。滑床溪谷の岩肌は、その名のとおり「滑らかな床」のようになっているので、雪輪の滝では日本最大級の天然スライダーを経験できます。このスポーツが導入されたきっかけは、昨年、高速道路宇和島延伸を記念して開催された「えひめ南予いよし博2012」の自主企画イベントとして実施したもので、昨シーズンは予想を大幅に上回る1500人の皆さまでに体験していただきました。また、地元の有志によってキャニオニングのツアーガイドの会社も設立され、新たな雇用を生むなど地域への経済効果も現れています。



すると、まるで鳥になった気分です。足の力を使って登るので、コツさえつかめば腕力に自信のない女性や小学生でもスイスイ登れます。この他にも、ガイドと一緒に溪谷や周辺山岳部の有名スポットを巡る「ネイチャーガイド」や「シャワートレッキング」など、滑床溪谷を舞台にした体験メニューが次々と開発されていて、子どもからお年寄りまですべてのお客様に、四季を通じて、あるいは体力や年齢に合わせて楽しんでいただけます。

最後にもうひとつ、お勧めのスポーツを紹介します。松野町には、滑床溪谷を源とする目黒川と、天然うなぎが評判の広見川があり、どちらも隣の四万十市西土佐地区で四万十川に合流しています。このふたつの川に沿った道が、美しい自然景観に恵まれていてアップダウンも少なく、サイクリングに最適です。伊予と土佐を結ぶ国境の街道を、長閑な田園や緑滴る山々の風景を愛でながら、川風を受けてのんびりとペダルをこぐと、日々の喧騒をすっかり忘れて心身ともにリフレッシュできます。私も、自転車を買いました！



町からの お知らせ

久万高原町

●久万美コレクション展Ⅰ

三坂道路開通1周年記念・洲之内徹生誕100年記念企画第1弾

「山水の理路―古茂田公雄が描いた久万高原」

【会期】4月6日(土)～6月23日(日)

三坂道路開通記念ならびに美術評論家・洲之内徹生誕100年記念展として、特集展示「山水の理路―古茂田公雄が描く久万高原」を開催します。

古茂田公雄(1919-86)は、名勝「面河溪」を描いた作品で知られる洋画家です。戦前は東京で美術を学び、主要な展覧会で若くして入選するなど、将来を嘱望された画家



「面河溪」

でしたが、終戦後は家督を継ぐため松山に戻ります。以後美術団体には属さず、無所属として制作を続けます。帰郷後、深い想いを抱いたのが郷里の美しい自然、とりわけ重要なモチーフとなったのが面河溪や久万川でした。

古茂田の風景画は、私たちに風景を見る喜びとともに、自然と営みを共にすることの意味を問いかけてもいるのかもしれない。

- 開館時間 9時30分～17時
(入館は16時30分まで)
 - 休館日 月曜日、祝日の翌日
 - 観覧料 一般 500(400)円
高大生 400(320)円
小中生 300(240)円
※()内は20名以上の団体料金
- 【問】町立久万美術館
☎0892(21)2881
<http://www.kumakogen.jp/culture/muse/>

愛南町

●「愛南びやびや祭り2013」開催!

- 日時／平成25年5月26日(日) 午前9時30分～午後3時
- 会場／南レクロジ前(ホテルサンパール横)

「びやびや」とは、地元の浜言葉で「新鮮とれたて」を意味します。「愛南びやびや祭り」は、「食材の宝庫愛南町」の旬の特産品やグルメを広くPRする物産販売イベントとして、毎年5月第4日曜日に開催しています。

四国一の水揚げを誇る愛南町の新鮮なカツオを特価で購入できるほか、カツオや鯛などを使った様々な郷土料理を味わうことができます。また、生産量日本一を誇る本町自慢の愛南ゴールド(品種名河内晩柑)や新鮮野菜など、愛南町自慢の特産品を多数販売しています。



マグロの解体ショーやウルトラクイズ「ぎょショック」など、ステイジイベントも盛りだくさんで、一日楽しめるイベントになっていますので、皆様ぜひご来場ください。



●詳しくは、
愛南町役場商工観光課
☎0895-7217315

町の伝統行事

川瀬歌舞伎

●場所／演技できる施設のある場所等
(久万高原町直瀬地区で活動)

●実施時期／不定期で公演。依頼等により上演することもある。

【概要】

川瀬歌舞伎は、現在、県内で唯一残る農村歌舞伎であり、県の無形民俗文化財に指定されています。

明治期ごろから農閑期の娯楽として始まり、昭和36年、「川瀬歌舞伎保存会」が結成され、現在に至っています。

現在の会員は、20歳代～80歳代に至る老若男女16人が在籍し、主に三つの演題を演じています。

公演は、地元公民館まつり、町文化協会発表会ほか町外においても依頼により行っていますが、不定期であり、未定です。



内子町

燈籠まつり

【概要】

平家の落人伝説にちなむ先祖供養の夏祭り。登貴姫を載せた牛車、口

●場所／小田中央商店街
●実施時期／7月27日(土)

グ風の山車、絵灯籠、稚児行列、太鼓台、踊り連などが商店街を練り歩きます。小田川

に千個を超す燈籠を流し、清盛寺住職による供養の読経が流れます。



愛 南 町

はなとりおどり

●場所／南宇和郡愛南町増田2648番地（安養寺）
●実施時期／旧暦7月11日

【概要】

南予の一部と土佐一円にみられる花取り踊りは、修験道の山伏芸能のひとつで、鉦を叩く行為や歌詞から念仏踊りが取り入れられたことが分かる。

この増田地区のはなとりおどりは、昭和40年4月2日に愛媛県文化財に指定された伝統芸能で、一本松町史によると、起源は元龜天正年間（1574～1582）にまで遡り約440年の歴史を持つといわれている。

この踊りには3つの目的があるといわれ、第一は、増田安養寺に祀られる「高山尊神」の供養、第二は、ちよぼし弥三郎兄弟の供養、第三は、地域内の安全とされている。また演中の斎払い（さいはらい）は、本山派（天台系）と当山派（真言系）の争いを表し、青竹の打ち合いは、土佐の神事「棒打ち」の影響がみられる。

踊りに用いられる刀は破邪の剣、平常嫌う逆さ鎌は破魔除災を表している。

旧暦の7月11日安養寺境内で、麻の藍染の着流しにたすきを掛け、十八部の帽子様の鉢巻で踊る。



町議会事務局長会議を開催

平成25年度町議会事務局長会議が、4月22日午後2時30分から「県自治会館」で開催され、町議会事務局長及び事務局職員11名が出席した。はじめに本会事務局長から挨拶があった後に全員が自己紹介。次いで、協議に入り、次のとおり協議が進められた。

(1) 平成25年度事業について

① 愛媛県町村議会議長会

・本会組織について

・本年度の事業計画等について

・町会報えひめについて

・本年度の事業計画等について

・実態調査について

・町会報えひめについて

・その他 議員必携、全国町村議会議員団体保障制度

② 愛媛県町村監査委員協議会

・本年度事業計画等について

・実態調査について

・その他 監査必携

事務局から、それぞれ説明があり、一同了承した。

(2) 「市町村議会事務局職員研修」（国際文化アカデミー）への参加について

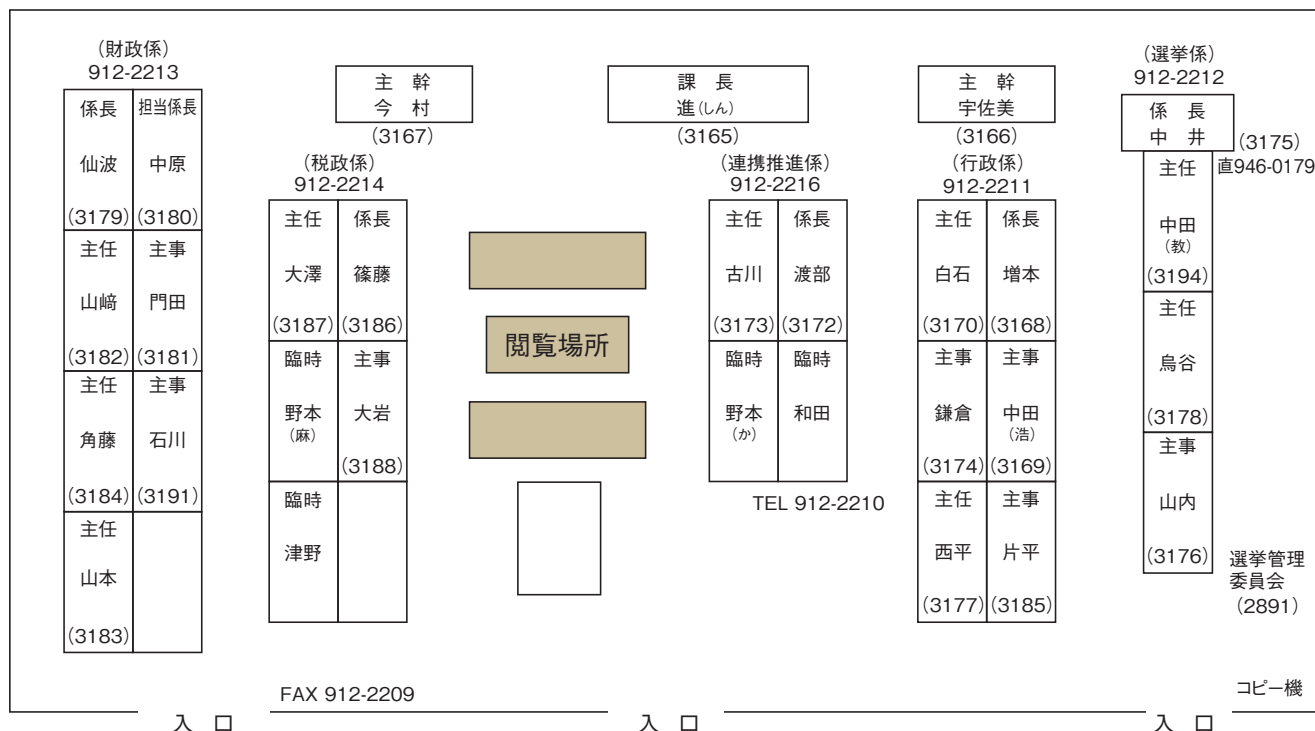
事務局から、本年度の新規事業である国際文化アカデミー研修について、今後、アンケートによりコースを選定したいとする説明があり、一同、了承した。

(3) 「地方議会の仕組みと初議会の運営について」事務局から、内容説明があった。





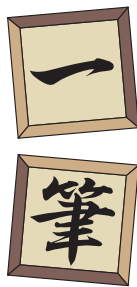
市 町 振 興 課 配 席 図



愛媛県町村会事務分担表

〔平成25年 4月 1日 現在〕

職 名	氏 名	事 務 分 担
事 務 局 長	渡 部 明 忠	総括、議長会事務局長、振興協会常務理事、振興協会事務局長 総合事務組合事務局長
次 長	柏 原 準	事務局長補佐、総合事務組合次長、議長会次長
総 務 課 課 長	向 井 政 明	・町村会、議長会運営関係（会計除く）、職員人事管理関係（町村会・議長会）に関すること。 ・総合協議会（水道協会、清掃、山村振興、水産業、下水道、ダム所在・発電関係）、過疎自立促進、人権協会、監査協関係に関すること。（会計を除く） ・各種研修会、要望陳情、町会報えひめ発刊、物資斡旋、軽自動車税申告書の取扱、ホームページ管理に関すること。 ・全国町村会共済事業、生活協同組合事業、（一財）全国自治協会共済受託事業（公有・生協自動車事故処理関係含む）に関すること。 ・町議会議員互助事業、議員補償制度に関すること。 ・他の課に属さないものに関すること。
(兼) 課長補佐	清 川 敦	
課長補佐	岩 田 美 保	
課長補佐	久 保 真 澄	
書 記	丹 下 浩 明	
会 計 課 (兼) 課 長	向 井 政 明	・会計全般、給料関係に関すること。 ・市町村職員共済組合・互助会に関すること。
会計管理者 振興協会出納役		
課長補佐	重 松 美智子	
課長補佐	田 窪 浩 司	・総合事務組合（退職手当・消防補償・交通災害・自治会館・議員公務災害の庶務）、振興協会の業務等に関すること。（会計を除く） ・文書発送会計に関すること。
事 業 課 課 長	清 川 敦	
(兼) 課長補佐	田 窪 浩 司	
主 任	中 井 貴 志	
主 査	原 田 祐 子	
書 記	新 岡 拓 也	



高齢者の活用

プロスキーヤー・冒険家の三浦雄一郎氏80歳は、このほどエベレスト登山でなく登頂に向けて出発した。70歳・75歳時、既に登頂を成功させており、デスゾーンへ挑む『他人のやらない事をやる』。この力強さと気合は、この4月新しく就職した者、新入学生をはじめ現今社会の中で軟弱性を指摘される人への啓発となろう。今年1月の不整脈から心臓手術を過去とした三浦氏の周回な意気込みに無事成功を祈る。

さて、後30年ほどで65歳以上の人口割合は全都道府県で3割を超す(厚生労働省・人口問題研究所)推計が先ごろ公表された。人口は約2千万人減る。

三浦氏のような老人パワーを全高齢者に求め、他の年齢層に認めさせるのは無理があるが、今日『高齢者』は、あらゆるものに付きまとい、まるで悪者扱いのように常に見聞きされる事は、短絡過ぎのような気もする。高齢者パワーについて、一考があつてよいのではないか。孫への贈与など消極的な策では…。

今は、長く低迷、暗く落ち込んでいた『景気』回復の風、勢いを止めてはならない。とにかく気分回復維持が大切である。さらに過日のバブル学習済みの高齢者を今こそ利用すべきでもある。体力はいささか限界が

あつて軽力であろうが、財力、知力、気力を持ち合わせた絶大な高齢者を活用せねばこれからの社会にとつて大きな損失である。生産性を上げる職種では、高齢技術者と産業ロボットを組み合わせる。女性社会進出にも、裏方でシルバーの経験を活用した環境整備をする。

ただ自然の摂理に反しない範疇で高齢者を活用することであるが、危惧する高齢者の医療費は、軽減へ繋がる。

また、人口減少を恐れる事はない。先のiPS細胞の誕生により、その超進化の先には医療再生技術から不老不死もどきの入り口が見え隠れする…。さらに生活環境をコンパクトに衣替えすればよい。既に町のインフラを集約したコンパクトシティが出現しつつある。

面積の割りに人口の多い日本。従来のようなむやみに駄々広く各施設を重複設置するでなく、コンパクトに効率よくまとめ、無駄を排除、最先端テクノロジで管理可能な分野は、医療や国家防衛も含め徹底する。さすれば少子高齢化社会に委縮することもない。

今はまず、経済成長期に竣工した高速道路、橋梁、トンネル、上水道などさまざまなインフラ老朽化に限りない代替、莫大な修復財源が必要とすること。その取捨選択を自己保身や損得が不必要な経験者(高齢者)に任せては如何なものであろう。

「征服せんがために屈する」

(ウイリアム・クーパー

英国の詩人)

(丁)

4月の会と催し

- ▽4日 全国町村議会議長会次期会長選挙に伴う九州ブロックへの要請、舞たうん編集会議
- ▽9日 町村議会の制度・運営に関する検討委員会幹事会
- ▽10日 第1回会館管理組合事務打合せ、全国町村議会議長会連絡調整会議
- ▽11日 都道府県町村会事務局長会議及び事務局長研修会
- ▽12日 愛媛県障害者スポーツ協会設立総会、第17回全国障害者スポーツ大会愛媛県準備委員会設立総会及び第1回総会
- ▽15日 平成25年度消防団員等公務災害補償等事務説明会、(公財)愛媛県スポーツ振興財団評議員会
- ▽16日 (二財)町村議会議員公務災害連合会職員研究会、町村議会議員共済会事業説明会、全国町村議会議員館事業説明会、全国町村議会議員互助会事業説明会、平成25年度愛媛県スポーツ地域振興協議会総会
- ▽17日 全国町村議会議長会第36回都道府県職員研究会、愛媛県租税教育推進協議会幹事会
- ▽18日 中央教育審議会教育振興基本計画部会(第26回)春の園遊会
- ▽19日 平成25年度春季副町長会
- ▽22日 平成25年度町議会議事務局長会議
- ▽24日 全国町村会政務調査会行政委員会・財政委員会合同会議、全国町村会政務調査会、同正副会長会、一般財団法人全国自治協合理事会、「第30回ふるさと振興賞」顕彰式

- ▽25日 全国簡易水道協議会中国・四国ブロック会議、愛媛県町村会平成25年度第1回全員連絡会
- ▽26日 食糧・農業・農村政策審議会食品産業部会第4回食品リサイクル小委員会、中央環境審議会循環型社会部会第2回食品リサイクル専門委員会第2回合同会議、愛媛県人権対策協議会第53回定期大会

編集後記

根が小っちゃいので、細かいことが気になって仕方ありません。例えば「目線」という言い方に出会うと、なぜ「視線」と言わないのかと思ってしまう。また、一般的に「すい」はsweetの意味で使われています。でも、漢字では「凄」と書き、そうすると「凄惨」の凄です。から使い方が違うんじゃないかと思ったりします。念のために断りますが、僕は言葉狩りは大嫌いなんです。そんなこんなで毎回、筆に難渋しながら、なんとか発刊にこぎつけているのが現状です。皆さん、今年度もヘルプミ。

◇
春になると旅行に行きたくなります。この時期の瀬戸内の海は実に穏やかで美しく、多島美の景観とともに、ひとしお風情を感じます。また、これから樹々の緑が鮮やかに萌えてくるでしょう。

よし、今度の休みはチューハイ片手に各地を訪ねてみるとするか。肴はもちろん各地で調達。酒なくて、なんの己が、桜かな